

● 2008年  
2月10日(日)  
AM9:00~12:00

# 地球温暖化って実際どうなの？私たちどうする？

## その1

● 場所  
第5研修室

ゲスト：平井史生（気象予報士、駒沢大学非常勤講師） 実行委員：宝珠山恭子（群馬県環境政策課）

まずは、実行委員・宝珠山さん進行でちょっとしたウォーミングアップの後、クリップボードセッション。

各自クリップボードに…

☆「“温暖化”と聞いて気になっていること、思いつくことを一言」

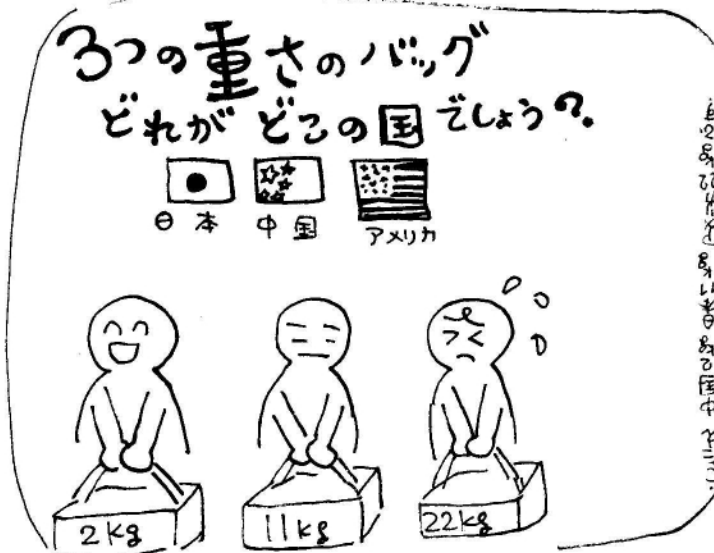
☆「いつからそれが気になるようになった？」を記入。

お互いにボードを見せて、気になった言葉についていろいろ聞きあい、各自の関心と“温暖化”に関するイメージを共有しました。

参加者は、「立ち上げた自然学校をとおして環境問題を伝えたいが、まずは自分の知識が必要。大人にさえ伝えることはむずかしい」「気候変動？夏の暑さががまんできなくなってきた」「子どもの頃より雪が降らなくなっている気がする」

「12月は冬鳥が出そろう時期、越冬にくるカモが減った、温暖化の影響？」「温暖化で私たちの食糧はどうなるの？」など、身近な経験から温暖化についてもっと知りたい！と考えている人が多かったようです。また、学校の保健の授業で公害のことから環境問題を知ったという方も。ちなみに高校の教科書で一番環境問題をとりあげているのは保健だそうです。参加者は、学校で環境教育をしている教員の方、若い学生さん、CO2排出側である企業の方、自然エネルギーに仕事として関わっている方、などなどでした。

休憩時間中も、地球温暖化防止活動推進センターからお借りした、各国1人あたりのエネルギー消費量の違いを実感できる重さのバッグを持ったり、「山田家の省エネ大作戦」について考えたり…



休憩後はいよいよ…「温暖化って実際どうなの？」ということで、TV「ズームインスーパー」でも活躍中の気象予報士・平井史生さんからパワーポイントでお話を伺いました。

まず平井さんからみんなへの質問

「地球温暖化ってなんですか？」

なんと！答えるとズームインスーパーグッズプレゼント♪

都市気候の温暖化である「ヒートアイランド」と「地球温暖化」の違い、地球温暖化の影響なのかどうなのかは“時間のものさし”と“空間のものさし”で考えることが重要！ということや

（ちなみに…二酸化炭素が増えると暖かくなる…ということに最初に気づいた日本人は宮沢賢治で、「グスコブドリの伝記」1932年に記述があります…国語での環境教育につかえますよ！）

これまでの環境問題（例：オゾン層の破壊）は先進国だけの問題なので対策が進んだ面があるが、CO2の排出は先進国だけの問題ではないからこそ容易ではないこと、世界各国のCO2排出量を国旗の大きさに示した世界地図など、わかりやすいお話が満載でした。

ちなみに今後21世紀末、日本では気温上昇を4℃と見積もると前橋は今の鹿児島くらいの平均気温になるそうです。

最後に日本におけるCO2排出量は、2005年データでは産廃部門、家庭部門は上昇している。京都議定書の基準年より8%増加。平井さんのお宅ではちょっと意識しただけで5%減らすことができました。みなさんも意識してみてください、とのメッセージがありました。

（レポート：Green-net ふじさか えり）